



病院長名	野々垣 浩二
所在地	〒457-8511 名古屋市南区白水町 9 番地
交通案内	名鉄常滑・河和線柴田駅南口下車（徒歩 3 分） <市バス利用> 柴田本通一丁目下車（徒歩 5 分） 又は白水町下車直ぐ

## 病院の特徴

### 患者に選ばれる病院をめざす

大同病院は、名古屋市南部および隣接市に広く跨る地域の中心的な救急・急性期病院であり、また同社会医療法人の関連施設や地域の医療・福祉施設で形成する、地域に寄り添う包括ケアシステムの中核病院として地域医療に貢献しています。救急センターでは、小児から高齢者まで、1次から3次まで、幅広い症例の受け入れを可能とし、年間救急車搬送台数は7500台を超えます。ドクターカーの導入により、地域の救急患者に対するいち早い医療介入や、入院患者の退院支援後も、1人1人を見守る医療を、関連施設での診療や在宅診療をもって提供しています。私たちが大切にしているのは、医療技術・設備・質は言うまでもなく、そこで働く人たちの医療にかけける真摯な思いです。そのどれもが充実していなければ実現しないHospitalityを提供できる病院を目指しています。

## 研修プログラムの特徴

### 定評のある連携施設研修を含めて充実の3年間研修！

#### 【大同病院 総合診療 専門研修プログラム】

内科だけではなく、外科系・精神科も含む幅広い診療分野の経験で、総合力を養成します。豊富な研修資源の中で、充実した研修を行い、開業医・家庭医を含め様々な地域医療の現場に貢献する総合診療専門医、病院勤務の病院総合医、双方のキャリアを可能とした3年間のプログラムです。

内科 6～12 か月、小児科 3 か月、救急科 3～6 か月、総合診療Ⅰ（診療所等での地域医療研修）6～12 か月、総合診療Ⅱ（病院等での総合力養成研修）6～12 か月、合計3年間の研修を行います。

- 病院・診療所、外来・救急・病棟・在宅等の多様な現場で、一般的な症候および疾患に対する評価と治療、それに必要な身体診察および検査・治療手技、患者中心の医療面接等を日々の中心業務として研修を行います。
- 内科研修は、基幹施設で内科専攻医とともにローテーション研修を行い、主担当医としての症例経験を積みます。
- 症例数豊富な二次救急医療の現場での研修を通し、診療科間の連携診療を経験し、総合力を養成します。
- 定評のある総合診療科（連携施設）研修を設定しました。
- 基幹施設研修の中で行う在宅診療および関連施設で構成する地域包括ケアの実践を通し、総合診療医としての地域医療連携の基礎を研修します。
- へき地・過疎地域医療の現場研修として、離島または山村地域の診療所で研修を行います。

## 主な連携・関連施設

諏訪中央病院 飯塚病院 豊田地域医療センター  
総合在宅医療クリニック(本部・名駅)  
知多厚生病院 知多厚生病院附属篠島診療所  
南高山地域医療センター（高山市国保高根・朝日・久々野診療所）  
だいでうクリニック 重心施設にじいろのいえ 中央クリニック  
日長台ファミリークリニック 内田橋ファミリークリニック  
なわファミリークリニック 大同メディカルスクエア

## メッセージ

### 指導医

（大同病院 総合診療専門研修プログラム統括責任者  
内科/腎臓内科部長・患者支援センター(PSC)長  
志水 英明



我が国は、高齢者が人口の約三分の一を占め、出生率が減少の一途をたどっている世界で類を見ない少子高齢社会となっています。多疾患を抱えた高齢者や成長過程で様々な疾患に罹患する小児に地域社会で対処するには、細分化された専門医では迅速に責任を持って対応することが困難になっています。今一度、人の一生を深く考え、生涯に罹患する疾患についての全般的な最新知識と技術を持って総合的な診療ができ、安心して相談ができる専門医が必要とされています。当プログラムは総合内科と、他の内科のみならず基幹施設的全診療科及び連携施設が連携し、精神・神経系を含む全身診察を正確に行い、自信と自覚を持って小児から高齢者まで、あらゆる健康問題に対応でき、患者さんおよび家族が安心して任せられる総合診療医を全力で養成して行きます。このような意に共感できる医師の皆さんに、ごしどし応募していただきたいと思います。

## 募集要項

・採用予定人数	総合診療専攻医として2名
・給与	<年収想定>（賞与・諸手当含 内科系専攻医参考） 3年次 約770～920万円 4年次 約830～990万円 5年次 約880～1100万円
・当直回数/月	救急センター時間外当番 3～4回
・当直手当/回	※時間外救急センター当番は、当直ではなく勤務として支給
・その他	学会補助： 年2回（発表を伴うものは制限無し） 住宅補助： 50,000円/月 社会保険： 健康保険、厚生年金、労災、雇用保険 福利厚生： 職員旅行（年1回/2年に1度海外旅行） 育児・介護必要時の深夜業務免除等 有り 病児・病後児を含め24時間託児保育利用可能 休暇制度： 指定休2日/月、年次有給休暇20日/年、 夏季休暇6日/年、年末年始休暇5日/年、 慶弔休暇、産前産後・育児・介護休暇等
・応募連絡先	担当者 卒後研修支援センター 大島 巧 電話番号 (052) 611 - 6261 Eメール kenshu@daidohp.or.jp